

# 国際学会への参加

情報工学府情報システム専攻M2 柴田 拓弥



## ITC-CSCC2013

2013年6月30日から7月3日に韓国麗水市で開催されたITC-CSCC2013 (The 28th International Technical Conference on Circuit/Systems, Computers and Communications)にて研究成果の発表を行いました。このITC-CSCCは回路設計、情報システム、ネットワークといった幅広い分野を扱っている学会です。

## 研究について

血流の状態を調べることが、生体の情報を得るのにとっても有益である

とされています。そのため、当研究室ではレーザーSpeckle Flowgraphyを用いたLaser Speckle Flowgraphyと呼ばれる血流測定システムの研究開発を行っています。従来の皮膚血流測定システムは測定プローブや解析装置等が大型なもので構成されており機動性に欠けていました。そこで、測定プローブと演算・表示機構の一体化を図ることで手軽に測定を行えるようなものとなっています。



学会メイン会場

この研究を“Development of handheld blood flow measurement system”と題して発表を行いました。発表にて

私が参加したセッションは“Medical Electronics”で、生体情報を扱う分野です。講演時間は1人15分でした。この15分間、研究成果の発表と質疑応答を行います。国際学会であるため、すべて英語でやり取りされます。プレゼンテーションの間は、用意してある原稿をもとに進めるので大きな問題は起きずに説明することができました。しかし、プレゼンテーション後の質問への対応では、自分の力の無さに気付かされました。私は今まで、外国へ行った経験もなく、外国語でのコミュニケーションをとったことはありませんでした。そのため、質問の内容を聞き取ることができても、自分の考えを相手に伝えることができませんでした。今回の発表を通じて、自分の語学力を向上させたいと強く感じています。また、機会があればこのような国際学会に参加したいと考えています。

## 韓国での観光

韓国に滞在中、観光も行ってきました。学会会場のある麗水市はリゾート地ということもあり、きれいな景色が印象的でした。さらに、ソウル市にも立ち寄りしました。ソウル市は日本の東京をイメージさせる都市でした。



学会会場のホテルからの遠景

## 最後に

国際学会への参加にあたり、私に貴重なご助言、ご指導下さった小西准教授と李助教に心より感謝いたします。また、この度の奨学金を援助していただいた明専会に厚く御礼申し上げます。